

岐阜圏域のまちづくり

1 岐阜県が目指す将来像

「安心」と「ワクワク」に溢れ、「人やモノが集まる岐阜県」を創る。

2 実現するための10の目標

- (1) 若者や女性が持てる力を発揮できる働き方や職場をつくる。
- (2) 子どもを産み育てやすい環境やサポートシステムをつくる。
- (3) お年寄りや障がいがある方が活躍できる場や居場所をつくる。
- (4) 災害などに強いインフラや医療・防災システムを整備する。
- (5) 鳥獣害のない里山を作り多様な価値を生む農業を推進する。
- (6) 山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを供給する。
- (7) 中堅中小企業の生産性を高め伝統産業の価値を発信する。
- (8) 社会課題を解決し未来を拓く新たなビジネスや産業を生み出す。
- (9) 豊かな感性を育み多様な子どもと一緒に学ぶ教育を実現する。
- (10) 文化や芸術、スポーツなど人生を豊かにする活動を促進する。

10の目標を推進するため、福祉、教育、商工、環境、まちづくりなど、様々な施策を組み合わせで取り組んでいる。

3 岐阜圏域のまちづくり

8月30日に東海環状自動車道が一部開通し、名神高速と東海北陸自動車道とつながり、東西南北から人とモノの迎え入れが可能となる。この道路ネットワークを最大限活用するための取組が必要。

このタイミングを捉え、「県都岐阜市を核とした岐阜圏域のまちづくり」に着手。

10の目標を実現するための一つのツールとして、LRTを有力候補とした新たな交通システム導入の検討を開始。